

所感

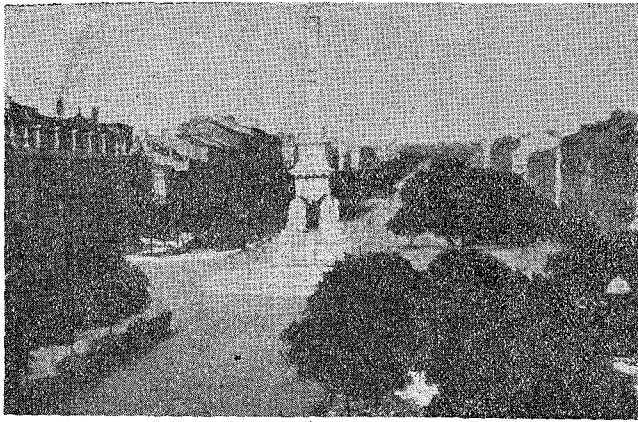
參謀本部
第三部長

陸軍少將 木原

清

復興の氣分潑刺たる新春を迎へましたことは御同慶の至りであります、乍去復興計畫に現れました道路改良の一端を拜見致しまして、一向に復興の氣分が無く、其規模の小さいには少からず落膽致しました次第であります。營に帝都と云はず地方に行きましても道路が悪るい爲に、交通が圓滑を缺いて公私共に莫大の損失を蒙つて居りますことは、皆様も御承知の通りであります、彼の泥田の様な悪るい道路や、交通整理が行き届かぬ爲め、牛歩蹣跚たる自動車を見ましては誠に情ない氣持が起るのであります。震災前伊太利の將校と雨後の高輪通りに自動車を驅たことがありますが、其の際「ボンベイ」の廢墟よりも惡路だと云はれまして、顔から火の出る様な思をしたことがあります。是れでは如何に自動車奨勵法が生まれ

ても、効果の擧がる筈はありませぬ。之を坦々砥の如く軽車を驅るを以て、人生行樂の一とせる泰西諸國の道路に比較することは、固より無理かも知れませぬか、近く極東大陸の一部、南洋群島の道路に比較しまして此の事は五大強國の一として恥かしいとか何とか云ふ體裁論や日常生活上の不便は別問題と致しまして、産業經濟の方面に於て、有形無形の間に受くるの損害は、實に測り知ることが出來ない處であります、結局我國は道路が悪るい爲に、世界的競争に落伍する様に考へられ甚だ寒心に堪へない次第であります尙ほ道路とは稍々縁遠い話であります、我航空界が甚だ振はない結果として戦時になると敵空軍が跳梁跋扈するであらうと思はれます、此秋に於きまして市内所々に火災は起り



葡萄牙のリスボン市に於て、一七五五年の大震災の後、大ベリ・ガ・ダニエルの道路に比較して、正十二年の大慘事を繰り返すか如き事に成りはしませぬか、若し斯様な事がありましては、國家百年の爲め將又子孫の爲め吾人の妄如たるを許すでありませうか、固より諸般の施設は國力と順應せねばならぬとは何人も知る所であります、此邊の事も考へ有用の爲には萬金を惜まぬ意氣ありてこそ始めて興國の民と謂ひ得るのであります唯眼前咫尺の情實に囚はれ其日暮しで満足する様では既に老境に入れるもので俱に談するに足らないと思ひます、

死傷者は續出し狭隘なる道路は避難者を以て充滿し、至る所阿鼻叫喚再び大正十二年の大慘事を繰り返すか如き事に成りはしませぬか、若し斯様な事がありましては、國家百年の爲め將又子孫の爲め吾人の妄如たるを許すでありませうか、固より諸般の施設は國力と順應せねばならぬとは何人も知る所であります、此邊の事も考へ有用の爲には萬金を惜まぬ意氣ありてこそ始めて興國の民と謂ひ得るのであります唯眼前咫尺の情實に囚はれ其日暮しで満足する様では既に老境に入れるもので俱に談するに足らないと思ひます、

旭日東天に耀くも太平洋上の波高し、我國民は此澎湃たる濤聲を抑も如何にか聽く。